

関係者各位

Press Release
令和3年7月30日



公式行事のお知らせ

8月1日からイベント参加申込を受け付けます！

今年度の福岡アジア文化賞公式行事は、初のオンライン配信（ライブ配信）を行うなど、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点に配慮しながら、下記のとおり執り行います。

*昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止

いずれも申込により無料で参加できますので、市民の皆様へ周知をお願いいたします。

行 事		日 時	会場／実施形式等	申込締切
授賞式		9月29日(水) 18:30～19:15	オンライン配信 (YouTubeライブ配信)	9月10日(金)
市民 フォーラム (講演、 対談など)	大賞 パラグミ・ サイナート氏 *オンライン出演	10月13日(水) 17:00～18:30	オンライン配信 (YouTubeライブ配信)	10月10日(日)
	学術研究賞 岸本 美緒氏 *来福予定	10月9日(土) 16:00～17:30	・福岡大学 A棟401教室 (参加者会場) ・オンライン配信 (YouTubeライブ配信) *参加者は上記のいずれかを選択	10月6日(水)
	芸術・文化賞 プラープダー ・ユン氏 *オンライン出演	10月2日(土) *時間帯は添付の チラシ参照	・福岡市総合図書館映像ホール (参加者会場) ・オンライン配信 (YouTubeライブ配信) *参加者は上記のいずれかを選択 *プレイベントはオンライン配信なし	9月29日(水)

各行事の内容詳細については、添付のチラシをご覧ください。

申込は、8月1日から上記「申込締切」までの間、添付のチラシ (QRコード)
又は福岡アジア文化賞 HP からお申し込みいただけます。

【問い合わせ先】 総務企画局国際部アジア連携課 (福岡アジア文化賞委員会事務局)
担当：中野、山田 Tel：092-711-4930 Fax：092-735-4130
福岡アジア文化賞 URL <https://fukuoka-prize.org/>

ASIAN PARTYとは…9月から10月にかけて集中的に開催されるアジアとクリエイティブ関連事業の総称です。
「アジアと創る」をコンセプトに、アジアのヒト、モノ、情報が集う社交場をイメージし、「アジアを知る」アジアマンスからリニューアルして9回目を迎えます。「福岡アジア文化賞」、「The Creators」のほか、民間企業・団体等と連携し様々なイベントを開催します。



FUKUOKA PRIZE 2021

福岡アジア文化賞

第31回

イベント参加申込 8.1 (日)から受付開始!



学術研究賞

岸本 美緒

KISHIMOTO Mio

(日本/歴史学者)



大賞

パラグミ・サイナート

PALAGUMMI Sainath

(インド/ジャーナリスト)



芸術・文化賞

プラープダー・ユン

Prabda YOON

(タイ/作家、映画作家、アーティスト)

授賞式: 9.29 (水) 18:30~19:15

オンライン配信
(YouTubeライブ配信)

同時
通訳

参加
無料
(要申込)

アジア文化への貢献をたたえる「福岡アジア文化賞」。

第31回目となる今年は、初のオンライン配信を行います! アジアの多彩な文化に触れることができる貴重なチャンスです。ぜひお申し込みください!



●申込締切: 9.10(金)

●申込方法: 左のQRコードからお申し込みください

●インターネット検索からでもお申し込みできます

アジア文化賞



お問い合わせ先/(フリーダイヤル)

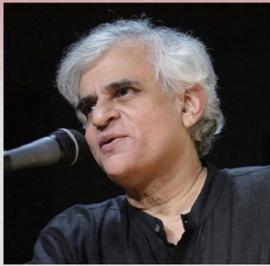
0120-390-545

E-mail: fukuoka-prize2021@dip-s.co.jp

主催: 福岡市/(公財)福岡よかトピア国際交流財団

参加無料
(要申込)

市民フォーラム 8.1(日)から受付開始!



パラグミ・サイナート
(オンライン出演)

10.13(水) 17:00~18:30

オンライン配信 (YouTubeライブ配信)

同時通訳あり

●申込締切 10.10(日)

●申込方法

右のQRコードから
お申し込みください



九州大学共催

民衆の歴史文書館をつくろう~インド発、NGOジャーナリズムの挑戦

グローバル化に揺れるインドで、貧しい農民の声を聴き、その姿を撮影し、「農民の物語」を紡ぐ気骨のジャーナリストが、パラグミ・サイナート氏です。NGOの「農村インド民衆文書館(PARI)」を足場に、若い記者たちとともに民衆の記憶と経験を綴るデジタル・ジャーナリズムを展開しています。昨年来パンデミックでロックダウンが繰り返される中で、草の根からの貴重な情報を提供し続けています。人々が自らの経験を言葉に変え、未来の人々に手渡していく「農村インド民衆文書館」の運動を熱く語ってまいります。



岸本 美緒 (来福)

10.9(土) 16:00~17:30

福岡大学A棟401教室 (参加者会場・申込先着順)

またはオンライン配信 (YouTubeライブ配信)

●申込締切 10.6(水)

●申込方法

右のQRコードから
お申し込みください



福岡大学共催

明末清初期の中国、そして世界

グローバルな交易ブームが波及し、大きな社会変動によって従来の秩序が崩れ、新たな時代へと向かった「明末清初」期(16世紀後半~17世紀前半)の中国に光を当て、不安と希望の入り混じる中で生きる人々の姿とともに、同時代の日本やヨーロッパで何が起こっていたのかというグローバルな文脈について、岸本氏が語ります。



プラープダー・ユン
(オンライン出演)

10.2(土)

福岡市総合図書館映像ホール (参加者会場・申込先着順)

またはオンライン配信 (YouTubeライブ配信)

同時通訳あり

●申込締切 9.29(水)

●申込方法

右のQRコードから
お申し込みください



福岡市総合図書館/
映像ホール・シネラ実行委員会共催

©国際交流基金バンコク日本文化センター

プレイベント/12:00~13:50 『地球で最後のふたり』 映画上映

※受賞者出演なし、オンライン配信なし
プラープダー氏脚本作品。
タイのリゾート地を舞台に、互いの兄妹の死をきっかけに出会った国籍の異なるふたりが、心を近づけていく過程を描いた静謐なラブストーリー。主演は、本作でベネチア国際映画祭コントロレンテ部門主演男優賞に輝いた浅野忠信。

講演・対談/14:30~15:30 タイ作家が表象した 日本と日本人

日本についてのエッセイや日本人を主役とした映画の脚本を執筆し、タイにおける日本理解のバージョンアップにも貢献しているプラープダー氏。コロナ禍と日本文化を巡る氏の基調講演に続き、二つの国が互いを見つめる視線の交差点を、日本文学におけるタイ表象を研究する久保田裕子教授(福岡教育大学)とともに考えます。

文学講座/16:00~17:10 世界文学としての タイ文学

タイ文学の新世代作家として評価され、グローバルな視点で執筆を続けてきたプラープダー氏。その作品は人間の本性をユーモラスかつ率直に描く一方、現代文化や社会への批評精神と深い思索に満ちています。同時代的ながら「タイ的」でもある氏の作品を通して、アジアの文学が世界と、日本とどう交差するのか考えます。